

日本宗教学会 第73回学術大会

2014年9月12日～14日



同志社大学（今出川キャンパス）
【会場】良心館

「お知らせ」と「お願い」

1. 受付手続きの際、必ず名札をお受け取り下さい。名札は、常に身に付け、お帰りの際にはご返却下さい。
2. 受付には、学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. **発表題目、パネル構成員の変更は一切認められません。**プログラムと同一にして下さい。
4. 発表者は、発表の2番前に、発表会場の「発表者待機席」においで下さい。
 - ・申し込み時に、パソコン用プロジェクタの使用を申請された方へ
個人発表は発表の2人前、パネル発表は開始20分前までに、会場係にお申し出下さい。
5. 発表時に配布する資料は、余裕をもってご用意の上、会場係にお渡し下さい。
6. **発表時間は以下のように構成されます。時間厳守でお願いします。**
 - ・個人発表 発表15分、質問5分、計20分（初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分）
 - ・パネル発表 「発表者数×5分」をフロアからの質問時間として確保下さい。
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
7. 発表会場間の移動、及び、プロジェクターの設置に必要なことを加味して、個人発表終了後に5分間の休憩時間を設けています。この5分間を議論の延長などに使うことのないようお願いいたします。
8. 万が一、発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表を詰めて行うことなく、予定時間通りに発表して頂きます。
9. **個人発表のレジュメ（表紙・本文）の紙原稿・電子データについて**
20頁「レジュメ作成と提出の注意」に従って作成した紙原稿を、9月14日午後12時30分までに、部会責任者に提出して下さい。電子データは、20頁「電子データの提出方法」に従って、ご送信下さい。
10. **パネル発表のレジュメ（表紙・本文）の紙原稿・電子データについて**
20頁「レジュメ作成と提出の注意」に従って作成した紙原稿を、代表者がとりまとめて、9月14日午後12時30分までに、部会責任者に提出して下さい。
電子データも、代表者が全員分をとりまとめて、9月19日までに、学会事務局に送信して下さい。
代表者は、「パネルの主旨とまとめ」と「パネルの欧文タイトル」、コメンテータの「コメント」を、9月26日までに、学会事務局にご送信下さい。
11. 日本語が母語でない方へ **レジュメは、必ず、日本語上の精査を受けた上で、ご提出下さい。**
12. 所定の場所以外での喫煙は、ご遠慮下さい。

受付	12日	良心館(RY)地下1階	13・14日	良心館1階
会員休憩室			13・14日	RY205
クローク	12日	RY地1	13・14日	RY207
学会本部	12日	RY地1	13・14日	RY204
大会実行委員会本部	12日	RY地1	13・14日	RY208

大会日程

9月12日（金）

学会賞選考委員会	良心館 RY439	12:30~13:30
情報化委員会	良心館 RY437	13:00~14:00
庶務委員会	良心館 RY438	13:00~14:30
国際委員会	良心館 RY436	13:00~14:00
開会式	良心館 RY 地2	14:30~14:40
公開シンポジウム	良心館 RY 地2	14:40~17:40
テーマ「宗教と対話——多文化共生社会の中で」		
パネリスト	村田晃嗣（同志社大学） 位田隆一（同志社大学） 木原活信（同志社大学）	
コメンテータ	島藺 進（上智大学）	
司 会	小原克博（同志社大学）	
理事会	良心館 RY 地2	18:00~20:30

9月13日（土）

研究発表（個人）	良心館内各会場	9:00~12:40
評議員会	良心館 RY203	12:40~14:00
研究発表（個人、パネル）	良心館内各会場	14:00~16:00
会員総会	良心館 RY203	16:20~17:40
懇親会	良心館 地下1階 生協食堂	18:00~20:00

9月14日（日）

研究発表（個人）	良心館内各会場	9:00~12:15
編集委員会	良心館 RY416	12:15~13:00
プログラム委員会	良心館 RY417	12:15~13:00
研究発表（パネル）	良心館内各会場	13:15~15:15

開催校からのお知らせ

日本宗教学会会員の皆さま、本年度の学術大会へご参加いただくにあたり、開催校としてお知らせしておきたいことがございます。ぜひご一読くださいますようお願い申し上げます。

- 1) 第73回学術大会における、すべてのプログラムは「良心館 (RY)」において実施されます(特別プログラムの一部をのぞく)。初日の12日は、日本心理学会の学術大会の最終日と一部重なるため、少し混雑があるかもしれませんが、あらかじめご了承ください。
- 2) 今回のプログラムでは発表者の希望、キーワードを考慮して部会を作成しましたが、人数の関係で必ずしも希望の部会に割り当てられていない場合があります。また各部会のパネルは個人発表とは異なった研究分野もありますので、ご注意ください。
- 3) 会場には、大会参加者用の駐車場はございませんので、自家用車での来場はご遠慮願います。なお、会場へのアクセスについては23頁の通りですので、ご参照ください。
- 4) 昼食は、13日、14日とも、会場である良心館地下の生協食堂をご利用いただける予定です。周辺にも食事のできる場所があります。13日には懇親会が予定されていますが、同志社大学の規定により、懇親会ではアルコールが出せないことを、あらかじめご了承下さい。
- 5) 自由に使用できるコピー機は設置しておりませんので、配布資料などは予めご自分でご用意ください。
- 6) クロークでは、お荷物をお預かりする用意はございますが、貴重品・衣服については預かりかねますので、ご容赦ください。
- 7) 台風などにより開催状況に変更が生じた場合は、大会ホームページを通じてお知らせします。
- 8) 大会直前、および期間中に緊急に連絡する必要がある場合の連絡先は、大会ホームページでご確認ください(期間限定の電話番号を用意する予定です)。
- 9) 会場となる良心館の以下の場所で、無線LANをご利用いただける予定です。接続方法については、大会当日、受付にて希望者に案内いたします。
地下 ラウンジ
1階 ルーセントプラザ、学生ラウンジ、講師控室
2階 ラーニングコモンズ、中央大階段前スペース
3階 ラーニングコモンズ、中央大階段前スペース
4階 中央大階段前スペース

パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意

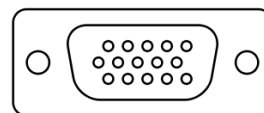
第 73 回学術大会での発表において、パソコン用プロジェクターの使用を希望される方は、以下の注意をご熟読ください。

発表申込の際に機材の使用申込が行われない場合、また発表申込後に変更がある場合、対応はいたしかねます。

また、機器の動作について完全な動作保証は難しいため、ご心配な方は事前に大会実行委員会にご相談ください。

① パソコンを持参する場合

各部会会場で使用するパソコン用プロジェクターは、VGA (D-Sub15 ピンのアナログ接続) (右図) にのみ対応しています。



DVI、USB などの接続方式には対応していません。

パソコンによっては (Macintosh 等)、直接接続できない場合がありますので、VGA 変換アダプターをご持参ください。

また、ご持参のパソコンが接続できないトラブルも起こりえますので、USB メモリー等にプレゼンテーション資料を保存してお持ちください。

② パソコンを持参しない場合

USB メモリーでプレゼンテーション資料をお持ちください。

その他の記録メディアをお使いになる場合は、USB 接続に変換する機器を各自ご持参ください。

事前にお持ちになる記録メディアのウイルスチェックを必ず行ってください。

会場に用意されるパソコンは、Windows 7 (日本語版) で、PowerPoint 2010 です。音声の出力も可能です。

他の OS (Macintosh, UNIX 等) や他のソフトウェア (Keynote, OpenOffice.org 等)、特殊フォントには対応しておりませんので、ご注意願います。

なお、教室内 LAN 回線によるインターネット接続は原則として保証いたしません。

公開シンポジウム

宗教と対話—多文化共生社会の中で—

日時 2014年9月12日(金) 14:40-17:40

場所 同志社大学 今出川キャンパス 良心館 地下1階 RY地2教室

14:40-14:45

趣旨説明 小原克博(司会・同志社大学 神学部 教授)

14:45-15:15

パネリスト(1)

村田晃嗣(同志社大学 学長、法学部 教授)

「国際政治から見た宗教研究への期待」

15:15-15:45

パネリスト(2)

位田隆一(同志社大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科 特別客員教授、京都大学名誉教授)

「国際生命倫理から見た宗教研究の課題」

15:45-16:15

パネリスト(3)

木原活信(同志社大学 社会学部 教授)

「社会福祉とスピリチュアリティ」

16:15-16:30

休憩

16:30-16:45

コメンテータ 島藺 進(上智大学教授、東京大学名誉教授)

16:45-17:35

パネル・ディスカッション

17:35-17:40

閉会の辞 小原克博

公開シンポジウムの趣旨

「宗教と対話——多文化共生社会の中で」を共通のテーマとして、国政政治、国際生命倫理、社会福祉の視点から、宗教研究に対する提言をしていただきます。細分化が進み、時として専門領域間の交流が不足しがちな宗教研究にとって、宗教（研究）間の対話や、宗教と世俗社会との対話は、研究のあり方に対する、新鮮な問いかけとなります。また、宗教研究が社会の状況から孤立しないためには、隣接する諸学問との学際的な対話も不可欠です。本シンポジウムでは、宗教研究に有意義な問いを投げかけてくれる可能性を持つ隣接分野の専門家からご提言をいただき、それに対し宗教研究の立場から応答する場を作り、課題を共有していきたいと考えています。そのためにパネル・ディスカッションにも十分な時間を割く予定です。将来に向けた新たな対話を促すシンポジウムとなることを願っています。

パネリストおよびコメンテータ紹介

むらた こうじ
村田 晃嗣

1964 年生まれ。同志社大学法学部卒業。米ジョージ・ワシントン大学大学院を経て、神戸大学大学院博士課程単位取得退学。博士（政治学）。広島大学助教授などを経て現職。専攻はアメリカ外交。著書に『レーガン』など。サントリー学芸賞、吉田茂賞、アメリカ学会清水博賞受賞。

いだ りゅういち
位田 隆一

1948 年生まれ。専門は国際法・国際機構、国際生命倫理。1996 年より 8 年間ユネスコ国際生命倫理委員会委員（1988～2002:同委員長）として国際生命倫理規範の策定に携り、国内でもゲノムや再生医療、臨床・疫学研究等、様々な生命倫理の議論やルール作り、審査等に関与してきた。

きはら かつのぶ
木原 活信

1965 年生まれ。博士(社会福祉学)。専門領域は、福祉思想・哲学、ソーシャルワーク論、キリスト教福祉学、死生臨床。社会福祉法人京都基督教福祉会理事。主著に『対人援助の福祉エートス』（ミネルヴァ書房）、『社会福祉と人権』（ミネルヴァ書房）、『J.アダムズの社会福祉実践思想の研究』（川島書店、福武直賞受賞）。

しまの すずな
島 進

1948 年生まれ。上智大学教授、同大学グリーンケア研究所所長、東京大学名誉教授。専攻は、近代日本宗教史、宗教理論研究、生命倫理、死生学。著書に、『現代宗教の可能性』（岩波書店）、『スピリチュアリティの興隆』（同）、『現代宗教救済論』（青弓社）、『現代宗教とスピリチュアリティ』（弘文堂）ほか。

第1部会 RY401

9月13日(土)

【午前】

- | | |
|--|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 「渴望の貴賤」の時代と如来教 | 石原 和 (立命館大) |
| 2. 9:25- 9:45 宗教学と仏教史—村上专精の「五種の研究眼」をめぐって— | 岡田 正彦 (天理大) |
| 3. 9:50-10:10 『喪記集』における唱衣法 | 金子 奈央 (中村元東方研究所) |
| 4. 10:15-10:35 浄土真宗における教理史研究に関する一考察 | 溪 英俊 (龍大) |
| 5. 10:40-11:00 姉崎正治の日蓮論 | 寺田 喜朗 (大正大) |
| 6. 11:05-11:25 靖国問題の諸相—日本における政教分離の視点から— | 丹羽 泉 (東京外国語大) |
| 7. 11:30-11:50 高野山暦の構造と現代の天文から見た整合性 | 前田 禮子 (高野山大) |
| 8. 11:55-12:15 宗教学における仏教研究—死生学的知見につなげるために— | 山本栄美子 |
| 9. 12:20-12:40 現代平和研究における仏教哲学の貢献についての考察 | 田辺寿一郎 (コベントリー大) |

【午後】

- | | |
|---|-------------|
| 1. 14:00-14:20 禅および聖書の世界における即非の論理、入不二法門 | 鳥居 興彦 |
| 2. 14:25-14:45 欧米の禅と東西霊性交流 | 峯岸 正典 |
| 3. 14:50-15:10 多元主義における宗教とは何か—諸理論の検証と考察— | 松野 智章 (東洋大) |
| 4. 15:15-15:35 多元主義的宗教理解と宗教学 | 宮嶋 俊一 (大正大) |
| 5. 15:40-16:00 宗教多元主義の行方—グローバル化かコスモポリタン化か?— | 山梨有希子 (大正大) |

9月14日(日)

【午前】

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 戦間期ルーマニア右翼思想における政治と宗教 | 大谷 崇 (早大) |
| 2. 9:25- 9:45 ルーマニア保安警察の供述調書におけるシオランとエリアーデ | 奥山 史亮 (日本学術振興会) |
| 3. 9:50-10:10 魔女と驚異と好奇心 | 黒川 正剛 (太成学院大) |
| 4. 10:15-10:35 『魔女への鉄槌』にみる神義論—「神の許可」をめぐる諸問題— | 田島 篤史 (関西大) |
| 5. 10:40-11:00 映画の宗教学—映画の層構造と《底》あるいは《魔》— | 近藤 光博 (日本女子大) |
| 6. 11:05-11:25 現代科学と宗教学—進化心理学の宗教説明をめぐって— | 中野 毅 (創価大) |
| 7. 11:30-11:50 科学的宗教理論の構造の解明—既存理論との比較による考察— | 藤井 修平 (東大) |

【午後】

- パネル 宗教学誕生期の再検討—ミュラーからデュルケームまで—** 代表者：江川 純一
- | | |
|--|--------------|
| 13:15-15:15 ミュラー宗教論の再検討—原初的「名づけ」とその凋落を巡って— | 久保田 浩 (立教大) |
| タイラー『原始文化』におけるピリーフ／プラクティス問題 | 堀 雅彦 (北星学園大) |
| アンドルー・ラングの宗教論 | 江川 純一 (東大) |
| デュルケーム『宗教生活の基本形態』における「信念」と「実践」 | 山崎 亮 (島根大) |
- コメンテーター：松村 一男 (和光大)
司会：江川 純一 (東大)

9 月 13 日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | プロクロスの祈りにおける諸段階について | 土井 裕人 (筑波大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 『ニュンペーの洞窟』におけるオデュッセウスの象徴 | 小野 隆一 (筑波大) |
| 3. 9:50-10:10 | 西欧「経済神学」の発展—ウェスレーと近世イギリスに注目して— | 清水 俊毅 (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | 神と金—キリスト教と資本主義をめぐって— | 福嶋 揚 (青山学院大) |
| 5. 10:40-11:00 | マックス・ヴェーバーにおける神義論問題と『儒教と道教』 | 荒川 敏彦 (千葉商科大) |
| 6. 11:05-11:25 | ウィリアム・ジェームズとユニテリアン | 林 研 (大谷大) |
| 7. 11:30-11:50 | ルドルフ・オットーにおける「宗教的アプリオリ」 | 藁科 智恵 (ゲッティンゲン大) |
| 8. 11:55-12:15 | 19 世紀の豊穰神研究と 20 世紀の欧州文化—クルツィウスの場合— | 横道 誠 (京都府立大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-------------------------------------|-------------|
| 1. 14:00-14:20 | エックハルトの「突破」(Durchbruch) モティーフの神学的根拠 | 田島 照久 (早大) |
| 2. 14:25-14:45 | 偽エックハルト文書『姉妹カトライ』における女性の霊性について | 阿部 善彦 (立教大) |
| 3. 14:50-15:10 | 眼差しの神秘—クザーヌスの所論をめぐって— | 島田 勝巳 (天理大) |
| 4. 15:15-15:35 | 晩期クサヌスの可能自体から万有の第一原因原理縁起空の根源法へ | 工藤 亨 |
| 5. 15:40-16:00 | ミシェル・ド・セルトーの神秘主義研究と「神学」 | 渡辺 優 (天理大) |

9 月 14 日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 沖縄における末日聖徒イエス・キリスト教会 | 竹村 一男 (立正大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 日本の末日聖徒イエス・キリスト教会の展開—機関紙の分析から— | 杉内 寛幸 (國學院大) |
| 3. 9:50-10:10 | シャーマニズムという観点からのクマリ (南アジアの乙女神) | 杉木 恒彦 (日本橋学館大) |
| 4. 10:15-10:35 | 古くて新しい問いをいかに問うか—あるいは信仰の書を読む方法— | 関 一敏 (九大) |
| 5. 10:40-11:00 | 遊戯論の系譜—シラーとヴィニコットにおける人間と遊びの関連— | 田口 博子 (工学院大) |
| 6. 11:05-11:25 | 預言者的壁観のルーツとダルマ伝承 | 宮村 重徳 (法大) |
| 7. 11:30-11:50 | ジェームズの「聖徳」とヤージュニャヴァルキヤ | 古泉 浩平 (京大) |
| 8. 11:55-12:15 | ハーバード大学時代の岸本能武太と小崎成章について | 星野 靖二 (國學院大) |

【午後】

- パネル 内村鑑三における「二元論」問題再考—矛盾と並存をめぐって—** 代表者：岩野 祐介
- | | | |
|-------------|--|-----------------|
| 13:15-15:15 | 土肥昭夫『内村鑑三』における二元論的分析パラダイムの再検討 | 渡部 和隆 (京大) |
| | 内村鑑三の聖書解釈における総合性と多層性の問題 | 岩野 祐介 (関西学院大) |
| | ‘Japan’ と ‘Jesus’ の緊張—キリスト教ナショナリズムと内村鑑三— | 赤江 達也 (高雄第一科技大) |
| | 内村における二つの価値基準—humanity と divinity をめぐって— | 柴田真希都 (日本学術振興会) |
- コメンテーター：芦名 定道 (京大)
司会：岩野 祐介 (関西学院大)

第3部会

RY403

9月13日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | F. ベイコンの知をめぐる倫理の構築 | 下野 葉月 (東大) |
| 2. 9:25-9:45 | スピノザ『エチカ』第四部定理六八備考におけるキリストの霊 | 大野 岳史 (東洋大) |
| 3. 9:50-10:10 | カントにおける信仰概念の変容 | 南 翔一朗 (京大) |
| 4. 10:15-10:35 | シェリングとフィヒテにおける自然的宗教について | 諸岡道比古 (弘前大) |
| 5. 10:40-11:00 | ルドルフ・シュタイナーの霊性論 | 西井 美穂 |
| 6. 11:05-11:25 | シモーヌ・ヴェイユの科学論 | 脇坂 真弥 (大谷大) |
| 7. 11:30-11:50 | レヴィナスのヴェイユ批判は正当か? | 伊原木大祐 (北九州市立大) |
| 8. 11:55-12:15 | P.L. バーガーの多元主義論と「宗教的ミドルポジション」 | 渡邊 頼陽 (一橋大) |
| 9. 12:20-12:40 | ロシア哲学文化における仏教思想の受容について | 元春 智裕 |

【午後】

- | | | |
|----------------|-----------------------------|-----------------|
| 1. 14:00-14:20 | 唯識思想における認知意味論 | 横井 滋子 (広島大) |
| 2. 14:25-14:45 | 綱島梁川における諸宗教との対話から「日本の宗教哲学」へ | 古荘 匡義 (大谷大) |
| 3. 14:50-15:10 | 西田哲学における悲哀について | 秋富 克哉 (京都工芸繊維大) |
| 4. 15:15-15:35 | 西谷啓治における体験の立場について | 長岡 徹郎 (京大) |
| 5. 15:40-16:00 | 押田成人における自然 | 寺尾 寿芳 (聖カタリナ大) |

9月14日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | キルケゴールにおける信仰と理性との関係 | 後藤 英樹 (東洋大) |
| 2. 9:25-9:45 | キルケゴールとH.N. クラウゼン—聖書の真理性について— | 須藤 孝也 (大谷大) |
| 3. 9:50-10:10 | キルケゴール思想と聖患者—単独者概念の端緒を求めて— | 中里 巧 (東洋大) |
| 4. 10:15-10:35 | ハイデッガーの言語論 | 谷口 静浩 (龍大) |
| 5. 10:40-11:00 | ハイデッガー『存在と時間』における死と失命の区別について | 松本 直樹 (同志社女子大) |
| 6. 11:05-11:25 | ニーチェとリルケ—ハイデッガーの遺稿断片より— | 小野 真 (相愛大) |
| 7. 11:30-11:50 | ウィトゲンシュタイン『確実性の問題』における「世界像」の問題 | 神尾 和寿 (流通科学大) |
| 8. 11:55-12:15 | 太陽とウィトゲンシュタインの宗教体験—シヨルデンの小屋にて— | 星川 啓慈 (大正大) |

【午後】

- パネル 真理・政治・普遍性—ポスト世俗化時代における神学の真理性—** 代表者：佐藤 啓介
- | | | |
|-------------|-------------------------------|----------------|
| 13:15-15:15 | 分離・区別・一致—キリスト教哲学論争にみる真理の諸相— | 佐藤 啓介 (南山大) |
| | マルティン・ハイデッガーにおける／を巡る哲学と神学の関係性 | 上原 潔 (京大) |
| | チャールズ・テイラーの政治哲学における超越性とは何か | 鬼頭 葉子 (聖学院大) |
| | 神学者ジョン・ミルバンクによる普遍的真理への挑戦 | 加藤 喜之 (東京基督教大) |
- コメンテータ：深井 智朗 (金城学院大)
司会：佐藤 啓介 (南山大)

9月13日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | Q資料の位置づけと担い手 | 松岡由香子 (花園大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 近年のヨハネ福音書研究と宗教学 | 佐々木 啓 (北大) |
| 3. 9:50-10:10 | 翻訳理論における等価概念—聖書翻訳との関連で— | 金 香花 (京大) |
| 4. 10:15-10:35 | ニュッサのグレゴリオスにおける魂の志向 | 武富 香織 (慶大) |
| 5. 10:40-11:00 | アウグスティヌスにおける祈りの弁証法 | 岡崎 隆哲 (同志社大) |
| 6. 11:05-11:25 | アンセルムスにおける experientia について | 矢内 義顕 (早大) |
| 7. 11:30-11:50 | フライベルクのディートリヒにおける能動知性解釈 | 西村 雄太 (早大) |
| 8. 11:55-12:15 | キリスト教における「十字」のシンボルの歴史と意義をめぐって | リアナ・トルファシュ (南山大) |
| 9. 12:20-12:40 | ジョン・ディーの自然哲学と魔術 | 武内 大 (東洋大) |

【午後】

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| パネル ローマ帝国における諸民族と宗教 | 代表者：市川 裕 |
| 14:00-16:00 祭司的ユダヤ教からラビ・ユダヤ教へ | 市川 裕 (東大) |
| 共和政ローマの宗教 | 小堀 馨子 (成城大) |
| ローマ法と宗教 | 葛西 康徳 (東大) |
| 初期キリスト教とローマ帝国 | 土居 由美 (立教大) |
| ユリアヌスとキリスト教ローマ帝国 | 中西 恭子 (明治学院大) |
| | 司会：市川 裕 (東大) |

9月14日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-----------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 初期ハイデガーとキリスト教 | 南部千代里 (大正大) |
| 2. 9:25- 9:45 | シュヴァイツァー思想における献身の諸問題 | 岩井謙太郎 (京大) |
| 3. 9:50-10:10 | 世への伝道—フライタークの「伝道の神学」を手掛かりに— | 南 裕貴子 (京大) |
| 4. 10:15-10:35 | ティリッヒの四—神論について | 近藤 剛 (神戸国際大) |
| 5. 10:40-11:00 | ジョン・ヒックとリライアビリズム—宗教解釈の方法論— | 橘田 直樹 (ノッティンガム大) |
| 6. 11:05-11:25 | チャールズ・テイラーの「希望」について | 坪光 生雄 (一橋大) |
| 7. 11:30-11:50 | リユサーのフェミニスト神学—現代中国における受容と展開— | 張 旋 (京大) |
| 8. 11:55-12:15 | 「エコ神学」の今日的課題—世界教会協議会 (WCC) の事例から— | 藤原佐和子 (同志社大) |

【午後】

- | | |
|---|--------------------------|
| パネル 新たなキリスト教史構築を目指して—通史的視座からの試み— | 代表者：狭間 芳樹 |
| 13:15-15:15 長崎における「聖なる空間」の変遷—キリスト教時代を中心に— | トロヌ・カルラ (天理大) |
| イエズス会士の仏教語理解ときりしたん民衆の宗教観 | 狭間 芳樹 (京大) |
| 信教の自由とキリスト教の信仰 | 内藤 幹生 (千葉県文書館) |
| キリスト教神学の可能性—『天地始之事』を巡って— | 長谷川(間瀬) 恵美 (桜美林大) |
| | コメンテータ：日沖 直子 (南山宗教文化研究所) |
| | 司会：狭間 芳樹 (京大) |

第5部会 RY405

9月13日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|---------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 古代エジプトの新年祭 | 深谷 雅嗣 (オックスフォード大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 「エデンの園物語」と「カインとアベル物語」の間テキスト的影響 | 能勢 岳史 (関西学院大) |
| 3. 9:50-10:10 | 忠誠の誓約文書と契約宗教としての一神教 | 渡辺 和子 (東洋英和女学院大) |
| 4. 10:15-10:35 | ラキシュ再検討—「ヨシヤの改革」理解に向けて— | 高橋 優子 (明治学院大) |
| 5. 10:40-11:00 | 「エン・ドルの霊媒物語」再考 | 高井 啓介 (慶大) |
| 6. 11:05-11:25 | 日本人女性ムスリムの信仰形成過程における「第二の改宗」 | 川崎のぞみ (筑波大) |
| 7. 11:30-11:50 | トルコの「聖所」と「参詣」 | 佐島 隆 (大阪国際大) |
| 8. 11:55-12:15 | ドイツにおけるイスラーム神学の制度化 | 堀 彩子 (一橋大) |
| 9. 12:20-12:40 | 法解釈における脱文脈化と再文脈化—イスラームの再普遍化の試み— | 八木久美子 (東京外国語大) |

【午後】

パネル 変革期の社会における他宗教理解

代表者：塩尻 和子

- 14:00-16:00 トルコにおける宗教多元主義とイスラーム運動
中国における回族の立場とイスラーム研究
戦前日本におけるイスラーム受容
イスラーム社会における宗教的マイノリティ
宗教間対話運動と日本のイスラーム理解

アドナン・アスラン(スレイマン・シャー大)
哈 宝玉 (陝西師範大学)
四戸 潤弥 (同志社大)
岩崎 真紀 (筑波大)
塩尻 和子 (東京国際大)
司会：塩尻 和子 (東京国際大)

※ 国際パネル・英語使用

9月14日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|----------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 古代末期のユダヤ美術 | 細田あや子 (新潟大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 創られた出自としてのユダヤ・アイデンティティ | 櫻井 文 (東大) |
| 3. 9:50-10:10 | ユダヤ教徒の危機の時代におけるマイモニデス | 嶋田 英晴 (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | 19世紀前半のドイツにおける「ユダヤ教」改革運動 | 青木 良華 (東大) |
| 5. 10:40-11:00 | 共生と離脱—ドイツの正統派ユダヤ人 I. Breuer の場合— | 丸山 空大 (日本学術振興会) |
| 6. 11:05-11:25 | ジャンケレヴィッチの形而上学—時効になりえぬものに抗して— | 奥堀亜紀子 (神戸大) |
| 7. 11:30-11:50 | A. J. ヘシエル演説における宗教間対話の構想 | 新免 貢 (宮城学院女子大) |
| 8. 11:55-12:15 | 現代イスラエルにおけるスピリチュアリティの諸相 | 竹倉 史人 (東京工業大) |

【午後】

パネル 宗教における「自由」「平等」—宗教の学際的研究に向けて—

代表者：勝又 悦子

- 13:15-14:55 理想のリーダー像にみるユダヤ教の「自由」「平等」
マイモニデスの「自由」「平等」観
中世ユダヤ思想における「民主主義」—アバルヴァネルを中心に—
ウンマの統治と「自由」「平等」—奴隷エリートと権威主義体制—

勝又 悦子 (同志社大)
神田 愛子 (同志社大)
平岡光太郎 (大阪商業大)
森山 央朗 (同志社大)
司会：勝又 悦子 (同志社大)

9月13日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 鈴木大拙『禅思想史研究』における初期禅宗の問題 | 飯島 孝良 (東大) |
| 2. 9:25-9:45 | 鈴木大拙の菩薩観 | 嶋本 浩子 (日本経済大) |
| 3. 9:50-10:10 | 支配 (vasa) について—初期仏教における— | 杉岡 信行 (近大) |
| 4. 10:15-10:35 | アシュヴァゴーシャに帰される密教文献について | 望月 海慧 (身延山大) |
| 5. 10:40-11:00 | 中国南北朝時代における光背表現の一考察 | 内藤 善之 (立正大) |
| 6. 11:05-11:25 | 日本中世の禅と念仏—心地覚心— | 常磐井慈裕 (中村元東方研究所) |
| 7. 11:30-11:50 | 立正大学図書館に所蔵されていた河口慧海旧蔵の和装本について | 庄司 史生 (立正大) |
| 8. 11:55-12:15 | 英語礼拝聖典『Vade Mecum』讃仏歌にみるアメリカ仏教の一考察 | 釋氏 真澄 (龍大) |
| 9. 12:20-12:40 | 現代中国における仏教の社会参加—生活禅を中心に— | 何 燕生 (郡山女子大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 14:00-14:20 | 日蓮の仏教観の特色 | 北川 前肇 (立正大) |
| 2. 14:25-14:45 | 法華経における諸菩薩の行者守護の誓いと如来寿量品の関係 | 関戸 堯海 (立正大) |
| 3. 14:50-15:10 | 日蓮遺文における説話の活用 | 芹澤 寛隆 (東北大) |
| 4. 15:15-15:35 | 近世日蓮伝記本『高祖累歳録』『本化高祖紀年録』の挿絵について | 望月 真澄 (身延山大) |
| 5. 15:40-16:00 | 長松日扇における教化活動の研究—釈教歌を視点として— | 武田 悟一 (立正大) |

9月14日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 親鸞における無明について | 紅模 英頭 (相愛大) |
| 2. 9:25-9:45 | 『無量寿経』四十八願の「聞名」について | 緒方 義英 (東九州短大) |
| 3. 9:50-10:10 | 康永本に見る親鸞の表象とその意義—『伝絵』の絵相比較から— | 大澤 絢子 (東京工業大) |
| 4. 10:15-10:35 | 近角常観の信仰運動の特色 | 岩田 文昭 (大阪教育大) |
| 5. 10:40-11:00 | 佐々木月樵における「親鸞教」の研究及び再構築 | 陳 敏齡 (輔仁大) |
| 6. 11:05-11:25 | 世界から見た親鸞の信仰 | 加藤 智見 (東京工芸大) |
| 7. 11:30-11:50 | 浄土真宗聖典の英語翻訳に関する基礎研究 | 桑原 昭信 (浄土真宗本願寺派宗学院) |
| 8. 11:55-12:15 | 鈴木大拙の妙好人への傾倒—柳宗悦・楠恭との関わりの中で— | 菊藤 明道 (成美大) |

【午後】

- パネル 人口減少社会における寺院仏教の役割—浄土真宗寺院を事例に—** 代表者：櫻井 義秀
- | | | |
|-------------|--------------------------------|-----------------------|
| 13:15-15:15 | 北海道の過疎地域における真宗大谷派寺院 | 櫻井 義秀 (北大) |
| | 複数寺院がかかわる講組織の現況—七里講を事例に— | 川又 俊則 (鈴鹿短大) |
| | 真宗高田派住職の兼業—寺院の維持と移行期の問題— | 藤喜 一樹 (愛知大) |
| | 寺院がつくる地域—仏教婦人会の活動を中心に— | 猪瀬 優理 (龍大) |
| | 滋賀の本願寺派寺院と地域社会—「信頼」はいかに醸成されるか— | 那須 公昭 (浄土真宗本願寺派総合研究所) |
- 司会：櫻井 義秀 (北大)

第7部会 RY407

9月13日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|----------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 『阿毘曇心論』業品における特色—壊僧の大罪について— | 智谷 公和 (相愛大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 『撰大乘論』の法身 | 田口 恵敬 (立正大) |
| 3. 9:50-10:10 | 葛洪撰述とされる医書とその伝播 | 多田 伊織 (京大) |
| 4. 10:15-10:35 | 『鷲峰開山法燈円明国師行実年譜』の一考察 | 龍口 恭子 (中村元東方学院) |
| 5. 10:40-11:00 | 『聖財集』にみる無住の兼修観 | 高柳さつき (中村元東方研究所) |
| 6. 11:05-11:25 | 釈迦牟尼の譬喩 | 筒井 奈々 |
| 7. 11:30-11:50 | 『楞伽經』の外教批判と多文化の共生 | 堀内 俊郎 (東洋大) |
| 8. 11:55-12:15 | 「一念三千の観心」についての一考察 | 三輪 是法 (身延山大) |
| 9. 12:20-12:40 | 智顛と吉蔵—經典観を中心とした両者の比較— | 林 瑞蘭 (立正大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-----------------------------|------------------|
| 1. 14:00-14:20 | 近代日本における反宗教運動と仏教の論争 | 近藤俊太郎 (龍大) |
| 2. 14:25-14:45 | 近代仏教と科学—富士川游を中心に— | 島田雄一郎 (東北大) |
| 3. 14:50-15:10 | 真田増丸の国家観 | 菊川 一道 (龍大) |
| 4. 15:15-15:35 | 仏教教団による戦死者慰霊の展開—忠魂祠堂を事例として— | 小林 惇道 (大正大) |
| 5. 15:40-16:00 | 山崎良順による平和観音像寄贈活動 | 君島 彩子 (総合研究大学院大) |

9月14日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 『選択集』における『往生要集』の受容について | 那須 一雄 |
| 2. 9:25- 9:45 | 親鸞『教行信証』における『菩薩戒經』引用への一考察 | 藤原 智 (親鸞仏教センター) |
| 3. 9:50-10:10 | 『教行信証』の書写における改編について—西本願寺本を中心に— | 富島 信海 (龍大) |
| 4. 10:15-10:35 | 親鸞における、二重化する信と表現 | 内記 洸 (京大) |
| 5. 10:40-11:00 | 真宗と西山義の相違 | 永原 智行 |
| 6. 11:05-11:25 | 「精神主義」の思想的背景—清沢満之と雑誌『無尽灯』— | 名和 達宣 (親鸞仏教センター) |
| 7. 11:30-11:50 | 人生の意義とは何か—清沢満之の思索— | 鈴木 朋子 (お茶の水女子大) |
| 8. 11:55-12:15 | 『信巻』「悲哉」の真宗伝道学的視点からの考察 | 藤原ワンドラ睦 (龍大) |

【午後】

- | | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------------|
| パネル 仏教から見た宗教間対話の可能性 | | 代表者：藤 能成 |
| 13:15-15:15 | 仏教チャプレンと牧師との連携—病院臨床の現場での一事例— | 打本 未来 (龍大) |
| | 宗教間の対話—韓国での取り組み事例を通して— | 藤 能成 (龍大) |
| | 野々村直太郎の浄土教批判の本質について | 原田 哲了 |
| | 日本仏教をキリスト教徒にどう教えるか | 寺本 知正 (NCC 宗教研究所) |
| | | コメンテーター：高田 信良 (龍大) |
| | | 司会：藤 能成 (龍大) |

9 月 13 日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 前近代韓国における地震災害に対する宗教的認識と実践 | 朴 炳道 (東大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 台北「西本願寺広場」について | 柴田 幹夫 (新潟大) |
| 3. 9:50-10:10 | チベット仏教の中台交流と中国共産党の宗教政策 | 川田 進 (大阪工業大) |
| 4. 10:15-10:35 | ブータンの民話にみる宗教世界観 | 本林 靖久 (大谷大) |
| 5. 10:40-11:00 | 独立後インドネシアの宗教制度と宗教的マイノリティ | 相澤 里沙 (日本学術振興会) |
| 6. 11:05-11:25 | タイにおける政教関係研究の特質 | 矢野 秀武 (駒大) |
| 7. 11:30-11:50 | アユタヤー期折本紙写本の特相 | 茨田 通俊 (中村元東方研究所) |
| 8. 11:55-12:15 | 現代ゾロアスター教徒の世界大会—現地調査報告と大会の課題— | 香月 法子 (中央大) |
| 9. 12:20-12:40 | アンダイ儀礼—集団歌舞で癒す女性のこころ— | アルタンジョラー (後藤学園) |

【午後】

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| パネル 井筒俊彦の「東洋哲学」への宗教学的視座 | 代表者：澤井 義次 |
| 14:00-16:00 井筒「東洋哲学」の哲学的視座 | 氣多 雅子 (京大) |
| 井筒「東洋哲学」における言語とその意味 | ロベス・パソス・ファン・ホセ (龍大) |
| 井筒の思索における華嚴的な世界 | 安藤 礼二 (多摩美術大) |
| 井筒のイスラーム理解と流出論 | 鎌田 繁 (東大) |
| | コメンテータ・司会：澤井 義次 (天理大) |

※ 日本宗教研究諸学会連合 後援

9 月 14 日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 古代インドの魔女サダーヌヴァー | 土山 泰弘 (埼玉工業大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 地上の神の奇矯な振る舞い—中世ヒンドゥー教の聖者伝から— | 井田 克征 (金沢大) |
| 3. 9:50-10:10 | インドから見る 18 世紀末西洋近代墓地の出現と受容 | 富澤 かな (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | 仏教とヒンドゥー教との共生—マハーカーラ信仰の調査報告— | 佐久間留理子 (中村元東方研究所) |
| 5. 10:40-11:00 | ヴィヴェーカーナンダにとってのブッダ—彼の講演等をもとに— | 平野久仁子 (上智大) |
| 6. 11:05-11:25 | ヒンドゥー教の世界化と寺院司祭—アーガマ化の概念にも触れて— | 山下 博司 (東北大) |
| 7. 11:30-11:50 | M. K. ガンディーの共同体思想における性の問題 | 間 永次郎 (一橋大) |
| 8. 11:55-12:15 | 現代インドにおけるサティ—観念の再解釈—寺院縁起譚を中心に— | 相川 愛美 (デリー大学) |

【午後】

- | | |
|---|---------------------|
| パネル 日本のカトリック教会の在日外国人支援にみる「多文化共生」 | 代表者：高橋 典史 |
| 13:15-15:15 カトリックによる在日外国人支援活動の歴史と現状 | 白波瀬達也 (関西学院大) |
| 日本におけるインドシナ難民の受入・定住化とカトリック教会 | 高橋 典史 (東洋大) |
| カトリックを基盤とするフィリピン人コミュニティの関係拡大 | 永田 貴聖 (立命館大) |
| カトリック教会とデカセギたち—「共振」の諸相— | 星野 壮 (大正大) |
| | コメンテータ：板井 正斉 (皇學館大) |
| | 司会：高橋 典史 (東洋大) |

第9部会 RY301

9月13日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 忌部の祭祀について | 竹内 雅之 |
| 2. 9:25- 9:45 | 徳川思想における『家礼』受容に関する一考察 | 松川 雅信 (立命館大) |
| 3. 9:50-10:10 | 禍津日神論争再考 | 三ツ松 誠 (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | 中江藤樹『捷徑医筈』に見えたる「鬱症」について | 鈴木 保實 |
| 5. 10:40-11:00 | 国学者の古典理解—古語拾遺を中心に— | 松本 久史 (國學院大) |
| 6. 11:05-11:25 | 本田親徳の産土神観—平田派国学との関係において— | 並木 英子 (国際基督教大) |
| 7. 11:30-11:50 | 排仏論の諸類型—神儒仏をどのように位置づけるか— | 森 和也 (中村元東方研究所) |
| 8. 11:55-12:15 | 久米邦武の聖徳太子研究 | 西田みどり (大正大) |
| 9. 12:20-12:40 | 戦前戦後を通じて見た葦津珍彦の「明津御神」観 | 東郷 茂彦 (國學院大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-----------------------------|-------------|
| 1. 14:00-14:20 | 近世修験の葬祭—英彦山派を事例に— | 中村 琢 (福岡大) |
| 2. 14:25-14:45 | 近世日本における儒者の儀礼論 | 井関 大介 (東洋大) |
| 3. 14:50-15:10 | 神になった歌聖と俳聖—日本近世における人神祭祀の展開— | 井上 智勝 (埼玉大) |
| 4. 15:15-15:35 | 日本の祭りにおける共食儀礼 | 吉野 亨 (國學院大) |
| 5. 15:40-16:00 | 高松西方寺のミニチュア法然上人二十五霊場 | 山本 博子 (佛教大) |

9月14日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 玄智『考信録』の一考察—神祇観をめぐって— | 掬月 即勝 (龍大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 手島堵庵の死生観 | 澤井 努 (京大) |
| 3. 9:50-10:10 | 吉川惟足による秘伝解釈の一考察—神籬磐境の伝における廃位論— | 徳橋 達典 |
| 4. 10:15-10:35 | 初期日蓮教団と富士山信仰 | 長倉 信祐 (日蓮正宗教学研鑽所) |
| 5. 10:40-11:00 | 寛克彦「日本体操」の理論と実践 | 中道 豪一 (広島商船高専) |
| 6. 11:05-11:25 | 大正期における寛克彦の神社崇敬論 | 西田 彰一 (総合研究大学院大) |
| 7. 11:30-11:50 | 吉見幸和と紀典学 | 鈴木 一彦 (名大) |
| 8. 11:55-12:15 | 『御書用語式』について—書誌学的視座からの検討— | 堀部 正円 (日蓮正宗教学研鑽所) |

【午後】

- パネル 近代日本の修養・精神療法・新宗教における身体論と国家論** 代表者：吉永 進一
- | | | |
|-------------|-------------------------------|------------------|
| 13:15-15:15 | 江戸儒学における政治と身体 | 野村 英登 (二松学舎大) |
| | 忠義を行ずる—寛克彦から佐藤通次にみる身体=国家論の系譜— | 栗田 英彦 |
| | 霊術と国家観—三井甲之の手のひら療治— | 塚田 穂高 (國學院大) |
| | 民衆宗教の政治性とはなにか | 永岡 崇 (南山宗教文化研究所) |
- コメンテータ・司会：吉永 進一 (舞鶴高専)

9月13日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 宗教団体と「公」の関係性 | 竹内 喜生 (東大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 文部省と財団法人大日本戦時宗教報国会 | 大澤 広嗣 (文化庁) |
| 3. 9:50-10:10 | 国体概念を巡る宗教社会学的考察—〈血の聖性〉を尺度として— | 富澤宣太郎 (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | 植民地朝鮮における天道教の「対日協力」の論理 | 川瀬 貴也 (京都府立大) |
| 5. 10:40-11:00 | 韓国人信者にみる日系新宗教の受容—天理教韓国教団を中心に— | 陳 宗炫 (東北大) |
| 6. 11:05-11:25 | 天理教原典 I における「みち」 | 澤井 治郎 (天理大) |
| 7. 11:30-11:50 | 金光教における教祖理解の変遷について | 長崎 誠人 (近大姫路大) |
| 8. 11:55-12:15 | 金光大神『お知らせ事覚帳』『覚』研究史—民衆宗教史再考— | 水内 勇太 (同志社大) |
| 9. 12:20-12:40 | 明治末期の国家政策と金光教 | 藤井 麻央 (國學院大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|----------------------------|------------------|
| 1. 14:00-14:20 | 近代火葬論再考 | 土居 浩 (ものつくり大) |
| 2. 14:25-14:45 | 「巫女」と水子—大和教団の教勢展開— | 高棹 健太 (東北大) |
| 3. 14:50-15:10 | イタコ寺大和宗の歴史を再考する | 原 英子 (岩手県立大盛岡短大) |
| 4. 15:15-15:35 | 流行神の誕生と展開—長野県飯田市貧乏神神社を事例に— | 黄 緑萍 (東北大) |
| 5. 15:40-16:00 | 個人生活史にみる「元祖女みこし」の街の変容と神田祭 | 秋野 淳一 (國學院大) |

9月14日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 東海地方に探る隠れキリシタンの痕跡 | 春日井真英 (東海学園大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 教理・絶望・救済—賀川豊彦と〈無〉— | スティグ・リンドバーグ (京大) |
| 3. 9:50-10:10 | 再臨運動とホーリネス・リバイバルの比較 | 黒川 知文 (愛知教育大) |
| 4. 10:15-10:35 | ペンテコスタリズムへの回心—日本における韓国系教会の場合— | 野口 生也 (茨城高専) |
| 5. 10:40-11:00 | クリスチャンになる過程—韓国系キリスト教会における教化方法— | 中西 尋子 (関西学院大) |
| 6. 11:05-11:25 | 在米モンゴル人の民族的アイデンティティとキリスト教 | 滝澤 克彦 (長崎大) |
| 7. 11:30-11:50 | 比日児童の居場所造り—教会が直面する多文化と宗教継承の問題— | ラメイ・アレック (上智大) |
| 8. 11:55-12:15 | 在日ブラジル人の流動的な宗教コミュニティ | 山田 政信 (天理大) |

【午後】

- | | |
|--------------------------------------|--------------------|
| パネル 宗教研究として「身心変容技法」研究が問いかけるもの | 代表者: 鎌田 東二 |
| 13:15-15:15 | 身心変容技法研究が問いかけるもの |
| | 身心変容技法としての祈り |
| | 身心変容技法を心霊研究圏内から考える |
| | 身心変容技法とキリスト教神秘主義 |
| | 身心変容技法とマインドフルネス |
| | 鎌田 東二 (京大) |
| | 棚次 正和 (京都府立医科大) |
| | 津城 寛文 (筑波大) |
| | 鶴岡 賀雄 (東大) |
| | 井上ウィマラ (高野山大) |
| | 司会: 鎌田 東二 (京大) |

第11部会

RY303

9月13日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | ゼールゾルゲ(魂のケア)とスピリチュアルケアの間 | 浅見 洋(石川県立看護大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 終末期における医療とスピリチュアルケア | 半田 栄一(中央大) |
| 3. 9:50-10:10 | 看取りの文化考—死に逝く者の作法— | 井藤美由紀(佛教大) |
| 4. 10:15-10:35 | 尊厳ある死とは何か | 冲永 隆子(帝京大) |
| 5. 10:40-11:00 | ホリスティック医療と信仰治療 | 坂本 進(マリア山荘霊性センター) |
| 6. 11:05-11:25 | 宗教組織の伝統医療プロジェクトの運営に見られる母体組織の構造 | 岡光 信子(中央大) |
| 7. 11:30-11:50 | 医学の発達が宗教に与える影響 | 杉岡 良彦(旭川医科大) |
| 8. 11:55-12:15 | 生命概念と創発性—生命と物理主義との連続と断絶とをめぐって— | 冲永 宜司(帝京大) |
| 9. 12:20-12:40 | 生命の発生と進化に倫理的意味は存在するのか?—神義論的考察— | 十津 守宏(名古屋工業大) |

【午後】

- | | | |
|-------------|-----------------------------------|----------------|
| パネル | 欧州におけるホスピス・緩和ケアの展開と宗教のかかわり | 代表者: 竹之内裕文 |
| 14:00-15:40 | 欧州におけるホスピス・緩和ケアの展開をどう読み解くか | 竹之内裕文(静岡大) |
| | 「ホスピスの世俗化」言説とその背景 | 諸岡 了介(島根大) |
| | フランスの看取りにおけるライシテとスピリチュアリティの拮抗 | 伊達 聖伸(上智大) |
| | スピリチュアルケアと宗教—欧州・日本の緩和ケア実践から— | 坂井さゆり(新潟大) |
| | | 司会: 竹之内裕文(静岡大) |

9月14日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 浄土真宗とカウンセリング | 友久 久雄 |
| 2. 9:25- 9:45 | カール・ロジャーズにおけるキリスト教的側面 | 今野 啓介(東大) |
| 3. 9:50-10:10 | ツルティム・アリオオーネの施餓鬼的心理療法 | 葛西 賢太(宗教情報センター) |
| 4. 10:15-10:35 | 名目における宗教心理学的展開 | 太田 俊明 |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教観がアイデンティティ確立と適応に及ぼす影響 | 山崎 洋史(國學院大) |
| 6. 11:05-11:25 | 人間関係の色イメージについての男女の相関性—質問紙調査から— | 久保田 力(東北芸術工科大) |
| 7. 11:30-11:50 | C.G. ユングにおける思考と感情 | 杉岡 正敏(関西学院大) |
| 8. 11:55-12:15 | フランクルの「超意味」について | 宮下 聡子(お茶の水女子大) |

【午後】

- | | | |
|-------------|-------------------------------|---------------------|
| パネル | 宗教性／スピリチュアリティと精神的健康の関連 | 代表者: 松島 公望 |
| 13:15-15:15 | 研究プロジェクトの概要 | 松島 公望(東大) |
| | 宗教的自然観と精神的健康との関連 | 西脇 良(南山大) |
| | スピリチュアル現象と精神的健康との関連 | 具志堅伸隆(東亜大) |
| | 写経の実験的研究の試み | 中尾 将大(大阪大谷大) |
| | | コメンテーター: 森岡 正芳(神戸大) |
| | | 司会: 松島 公望(東大) |

9月13日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 開拓民の定住と墓—札幌市の事例— | 問芝 志保 (筑波大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 恐山参詣の近代化—大正期の「観光化」をめぐる— | 大道 晴香 (日本学術振興会) |
| 3. 9:50-10:10 | 巫者の指示を実践に移すまで—津軽地方を事例として— | 村上 晶 (筑波大) |
| 4. 10:15-10:35 | 新潟市の女性シャーマンについて | 佐藤 憲昭 (駒大) |
| 5. 10:40-11:00 | 磯(磯)部族についての一考察—延暦儀式帳を中心として— | 新田佳恵子 (皇學館大) |
| 6. 11:05-11:25 | 英彦山における神前読経の復興 | 亀崎 敦司 (九大) |
| 7. 11:30-11:50 | 他界観における境界の研究—奄美諸島・喜界島を事例として— | 辻 信行 (中央大) |
| 8. 11:55-12:15 | ポスト九学会連合の奄美調査の可能性 | 西村 明 (東大) |
| 9. 12:20-12:40 | ハワイ日系人宗教調査から見えるもの | 富田 隆元 (駒大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|-------------------|---------------|
| 1. 14:00-14:20 | 能の大臣について—脇能のワキ考— | 今泉 隆裕 (桐蔭横浜大) |
| 2. 14:25-14:45 | 擬人化装置としての能—靈魂観再考— | 永原 順子 (高知工専) |
| 3. 14:50-15:10 | 星野元豊の呪術論 | 阿部 友紀 (東北大) |
| 4. 15:15-15:35 | 生きとし生けるものと日本宗教 | 濱田 陽 (帝京大) |
| 5. 15:40-16:00 | 近世刊本に描かれた仏壇のかたち | 徳野 崇行 (駒大) |

9月14日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 朝鮮半島北東部・在家僧の村における山神について | 川上 新二 (岐阜市立女子短大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 現代韓国におけるナショナルな死者の「安住の地」について | 田中 悟 (神戸大) |
| 3. 9:50-10:10 | 産婆をめぐる習俗—カトマンズのアジマ神との関連において— | 工藤さくら (東北大) |
| 4. 10:15-10:35 | キューバにおけるサンテリア信仰をめぐる文化人類学的実践 | 井上 大介 (創価大) |
| 5. 10:40-11:00 | シヨナ社会における音楽的宗教空間 | 松平 勇二 (名大) |
| 6. 11:05-11:25 | 「三世相」の形成 | 小池 淳一 (国立歴史博) |
| 7. 11:30-11:50 | 民俗学において信仰の語りの場に立つこと | 田中久美子 (福岡工業大) |

【午後】

- | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|---------------|
| パネル 聖地における「聖性」の多元化とその葛藤をめぐる | | 代表者：山中 弘 |
| 13:15-14:55 | 「聖性」の多元化と葛藤をめぐる—長崎教会群を事例にして— | 山中 弘 (筑波大) |
| | 逆転する表舞台と裏舞台—青森県新郷村の聖地観光をめぐる語り— | 岡本 亮輔 (聖心女子大) |
| | 聖地とロッククライミング—岩を守る人々と登る人々の論理— | 天田 顕徳 (筑波大) |
| | 200円の聖地—観光化に伴う斎場御嶽の入場管理と公共性— | 門田 岳久 (立教大) |
| | | 司会：山中 弘 (筑波大) |

第13部会

RY305

9月13日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 経営者と宗教的情操—「期待される人間像」の松下幸之助— | 川上 恒雄 (PHP 研究所) |
| 2. 9:25- 9:45 | 真宗障害者福祉再考—宗教的実践と社会的実践をつなぐもの— | 頼尊 恒信 (和歌山赤十字看護専門学校) |
| 3. 9:50-10:10 | 宗教教育の諸課題 | 小山 一乗 (駒大) |
| 4. 10:15-10:35 | ドイツの宗教科における「他者」の問題 | シュルーター智子 (立教大) |
| 5. 10:40-11:00 | ポスト多文化主義とポスト世俗主義の接合—英国宗教教育の現在— | 藤原 聖子 (東大) |
| 6. 11:05-11:25 | 公立学校における「宗教的情操教育」の可能性への一考察 | 森 一郎 (関西学院大) |
| 7. 11:30-11:50 | 理系は非宗教的か?—JGSS-2002 の分析— | 寺沢 重法 (北大) |
| 8. 11:55-12:15 | 「臨床宗教師」研修修了者のアイデンティティ | 森田 敬史 (東北大) |

【午後】

- | | | |
|------------------------------------|------------------------------|--------------|
| パネル 宗教多元時代における宗教間教育の実践とその課題 | 代表者：那須 英勝 | |
| 14:00-15:40 | 宗教間教育とは何か—その必要性と課題— | 小原 克博 (同志社大) |
| | 宗教間教育の可能性を考える—単位互換科目の現場から— | 安永 祖堂 (花園大) |
| | 宗教間教育の実践とその評価—海外の事例との比較を通じて— | 那須 英勝 (龍大) |
| | コメンテータ：井上 順孝 (國學院大) | |
| | 司会：那須 英勝 (龍大) | |

9月14日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | アイデンティティと神学—セクシュアリティをめぐる— | 朝香 知己 (同志社大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 天理教の救い—教祖と「安産の神さま」— | 堀内みどり (天理大) |
| 3. 9:50-10:10 | 優生思想の拡散と定着—1945年以降韓国を中心に— | 金 律里 (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | 韓国キリスト教界のプロライフ運動—中絶の代案と子棄ての是非— | 淵上 恭子 |
| 5. 10:40-11:00 | 『新女界』の思想—イデオロギーと残滓— | 村山 由美 (南山宗教文化研究所) |
| 6. 11:05-11:25 | 聖公会における女性の聖職叙任—実現までとその後の諸問題— | 三木 メイ (同志社大) |
| 7. 11:30-11:50 | オリシャ崇拝と「性別」—アメリカ黒人の宗教運動の変容— | 小池 郁子 (京大) |
| 8. 11:55-12:15 | 共苦について—「無縁社会」における宗教者の観点から— | 宮本要太郎 (関西大) |

【午後】

- | | | |
|----------------------|---------------------------|--------------|
| パネル 宗教メディアの近代 | 代表者：大谷 栄一 | |
| 13:15-15:15 | 活版印刷術の普及と仏教系出版社 | 引野 亨輔 (千葉大) |
| | 宗教メディアとしての雑誌・結社・演説 | 大谷 栄一 (佛教大) |
| | 宗学研究室の情報発信—仏教系学術雑誌の歴史と実態— | 江島 尚俊 (大正大) |
| | 東京府神職会会報にみる近代の神社と神職 | 藤本 頼生 (國學院大) |
| | コメンテータ：櫻井 治男 (皇學館大) | |
| | 司会：大谷 栄一 (佛教大) | |

9月13日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | ジャワ島ムラピ山噴火災害と宗教 | 木村 敏明 (東北大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 発生90年後の東京下町地域大正関東大震災慰霊状況 | 出野 尚紀 (東洋大) |
| 3. 9:50-10:10 | 宗教施設と自治体の災害時協力 | 稲場 圭信 (阪大) |
| 4. 10:15-10:35 | 被災地支援と子ども—「おてつぎこども奉仕団」を事例に— | 魚尾 和瑛 (大正大) |
| 5. 10:40-11:00 | 福島県川内村住民対象の法話・瞑想活用によるスピリチュアルケア | 大下 大圓 (京大) |
| 6. 11:05-11:25 | 災害支援と記憶継承における情報ネットワークの役割と宗教 | 黒崎 浩行 (國學院大) |
| 7. 11:30-11:50 | 相馬真宗門徒が問う震災復興 | 御手洗隆明 (真宗大谷派教学研究) |
| 8. 11:55-12:15 | 仏教教団の社会活動に関する一考察 | 加茂 順成 (浄土真宗本願寺派総合研究所) |
| 9. 12:20-12:40 | 寺院過去帳の「現在」性—情報開示問題から— | 工藤 英勝 (曹洞宗宗務庁) |

【午後】

- | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|--------------------|
| パネル 被災地における心霊体験とその意味について | | 代表者：相澤 出 |
| 14:00-16:00 | 質問紙調査からうかがわれる被災地支援と宗教者の現況 | 相澤 出 (爽秋会岡部医院研究所) |
| | 宗教者による心のケアと心霊現象—聴き取り調査から— | 高橋 原 (東北大) |
| | 被災地における霊的体験と継続する絆—身内の霊と未知の霊— | 堀江 宗正 (東大) |
| | 祟る？それとも護る？—カウンセリングにおける霊出現の意味— | 大村 哲夫 (東北大) |
| | | コメンテータ：谷山 洋三 (東北大) |
| | | 司会：高橋 原 (東北大) |

9月14日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | なぜ祠るか | 浅野 章 |
| 2. 9:25- 9:45 | 「デジタルの形見」と供養儀礼のデザイン | 瓜生 大輔 (慶大) |
| 3. 9:50-10:10 | 代替的な食の文化の現代的展開—マクロバイオティクを中心に— | 黒田純一郎 (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | マンダラとマリア十五玄義団の類似性—ユングの元型論を基底に— | 高橋 勝幸 (総合研究大学院大) |
| 5. 10:40-11:00 | ロベール・ブレッソン『田舎司祭の日記』における聖性の表象 | 斎藤 喬 (東北生活文化大) |
| 6. 11:05-11:25 | 児童文学における死生観 | 大澤千恵子 (恵泉女学園大) |
| 7. 11:30-11:50 | 死と異世界文学—他界訪問譚、児童文学、SFの系譜の考察— | 北沢 裕 (東大) |
| 8. 11:55-12:15 | 迷宮と渦—岡本太郎を手がかりとして— | 中島和歌子 (東大) |

【午後】

- | | | |
|--------------------------------------|------------------------------|-----------------|
| パネル 新しい宗教研究の地平を拓く—「実践」という場から— | | 代表者：弓山 達也 |
| 13:15-15:15 | 宗教性と学術研究との連関を考え直す | 島藺 進 (上智大) |
| | 世代間交流と被災地支援が産み出すスピリチュアリティの教育 | 弓山 達也 (大正大) |
| | 宗教者と研究者の複眼で現場に立つ | 小川 有閑 (国際宗教研究所) |
| | 宗教間対話から現代宗教を見直す | 武藤 亮飛 (筑波大) |
| | 宗教研究における実践論的転回の可能性—自己・身体・瞑想— | 櫻尾 直樹 (慶大) |
| | | 司会：弓山 達也 (大正大) |

レジュメの作成と提出の注意

『宗教研究』別冊への掲載は、発表を行い、以下①～③を満たした方に限ります。

- ① 9月14日午後12時30分までに「表紙と本文の紙原稿」を提出し、
- ② 9月19日までに「表紙と本文の電子データ」をEメールで送信し、
- ③ 書式・本文が、規定にそっている方

表紙と本文は、①紙原稿の提出、②メールによる電子データの送信、の両方が必要です。

パネル発表は、代表者が発表者全員分をとりまとめて、提出、送信して下さい。

① 紙原稿の提出方法 締切：9月14日 午後12時30分

21頁の「レジュメ表紙」・本文の順に、ホチキスでとめ、部会責任者にお渡し下さい。
以後の提出、変更は認められません。完全原稿を提出して下さい。

② 電子データの提出方法 締切：9月19日（受付開始：8月20日）

送信先：日本宗教学会事務局 ja-religion@mub.biglobe.ne.jp

- ・ 1頁目 発表題目、発表者名、欧文タイトル、発表者名のローマ字表記 を入力
- ・ 2頁目 本文 を入力

メールの件名：「レジュメ 発表者の御名前」 例：レジュメ 鈴木花子

Windowsのワード・一太郎は添付ファイルで、それ以外はメールに貼り付けて下さい。

③ 書式・本文 以下をお守り下さい。

【書式】 縦書き 1行40字×40行 用紙：A4横
文字サイズ：10.5ポイント 邦文のフォント：MS明朝（ゴシック・太字の使用は不可）

【本文】 40字×40行以内 総文字数ではありません。

縦書きのため、邦文中の数字は、漢数字を用いる。

常用漢字、現代仮名づかいを用いる。

注記、参考文献は、本文中に括弧で挿入する。

図表等の掲載はできません。

日本語を母語としない方は、必ず、日本語上の精査を受けた上で提出して下さい。

・欧文タイトル

英語の場合は、邦文題目に照らして、ネイティブスピーカーが手を加えることがあります。
英語以外の言語は、発表者が提出したタイトル通りに掲載します。

・パネル発表

日本語以外の発表があった場合は、代表者の責任で、日本語のレジュメを提出して下さい。

「パネルの主旨とまとめ」（40字×40行以内）は、代表者が執筆する。

コメントは、「コメント」（40字×40行以内）を提出することを原則とする。

「コメント」も、代表者が、日本宗教学会事務局に送信して下さい。

レジユメの表紙 (すべての項目に記入して下さい。)

発表題目 題目の変更は認められません。プログラムの区 | リットル。 縦書き

発表者名 縦書き

欧文タイトル 邦文題目に副題がない場合、サブタイトルを付けることは不可
手書きする場合、イタリックは下線で指示して下さい。

発表者名のローマ字表記 例：鈴木花子 → SUZUKI Hanako

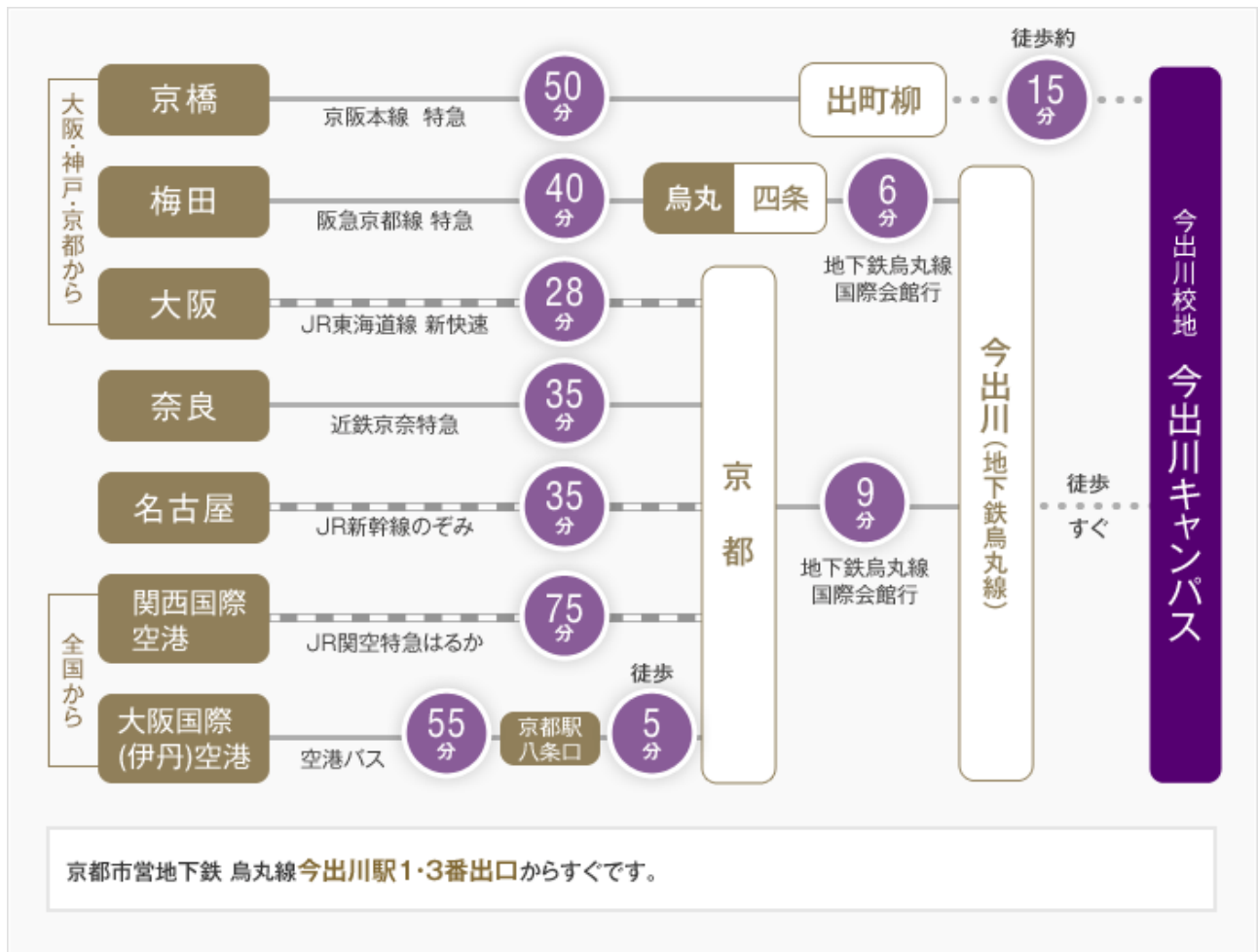
電子データの提出について 以下に○をつけて下さい。

- 1 送信済み
- 2 9月19日までに送信

※ レジユメの表紙は、大会ホームページからダウンロードできます。

※ 特殊文字は、プリントアウトしたものに、赤字を入れて下さい。

同志社大学 今出川キャンパス・アクセスマップ



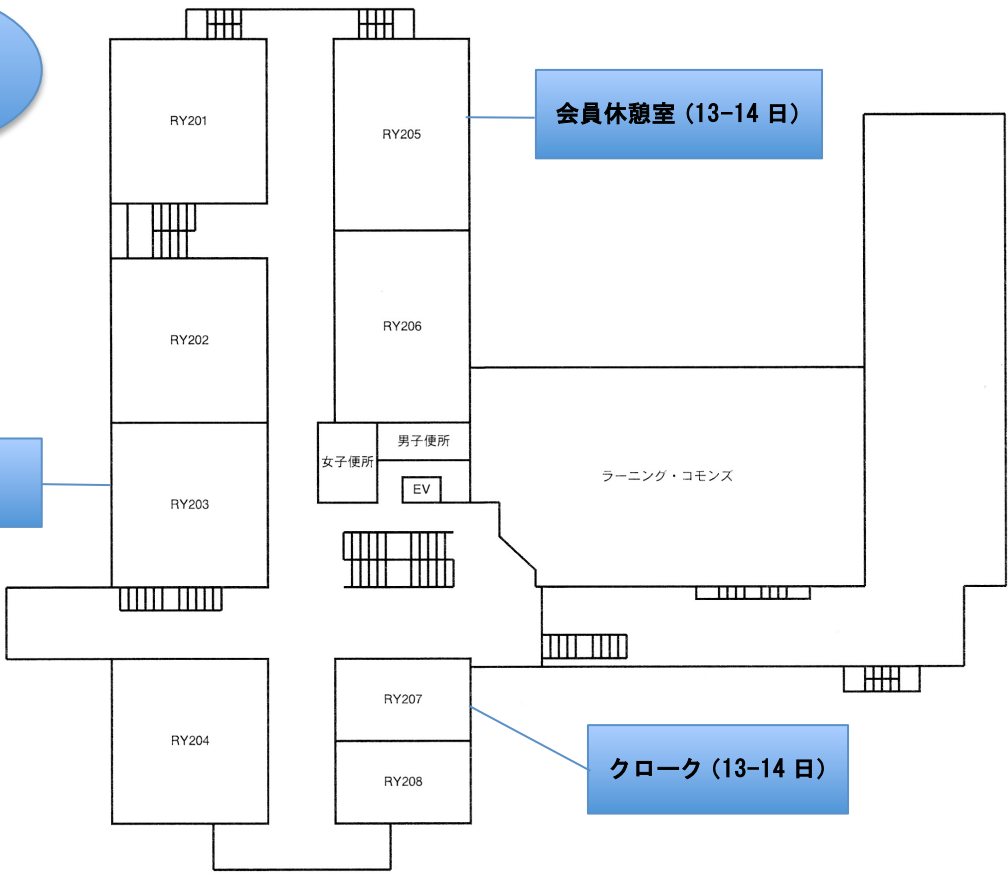
今出川駅(地下鉄)の北改札口を出ると、目の前に会場となる良心館の入り口(地下1階)があります。

同志社大学ホームページ アクセスマップからもご覧いただけます。
<http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/imadegawa.html>

2F



評議員会 (13日)
会員総会 (13日)



会員休憩室 (13-14日)

クローク (13-14日)

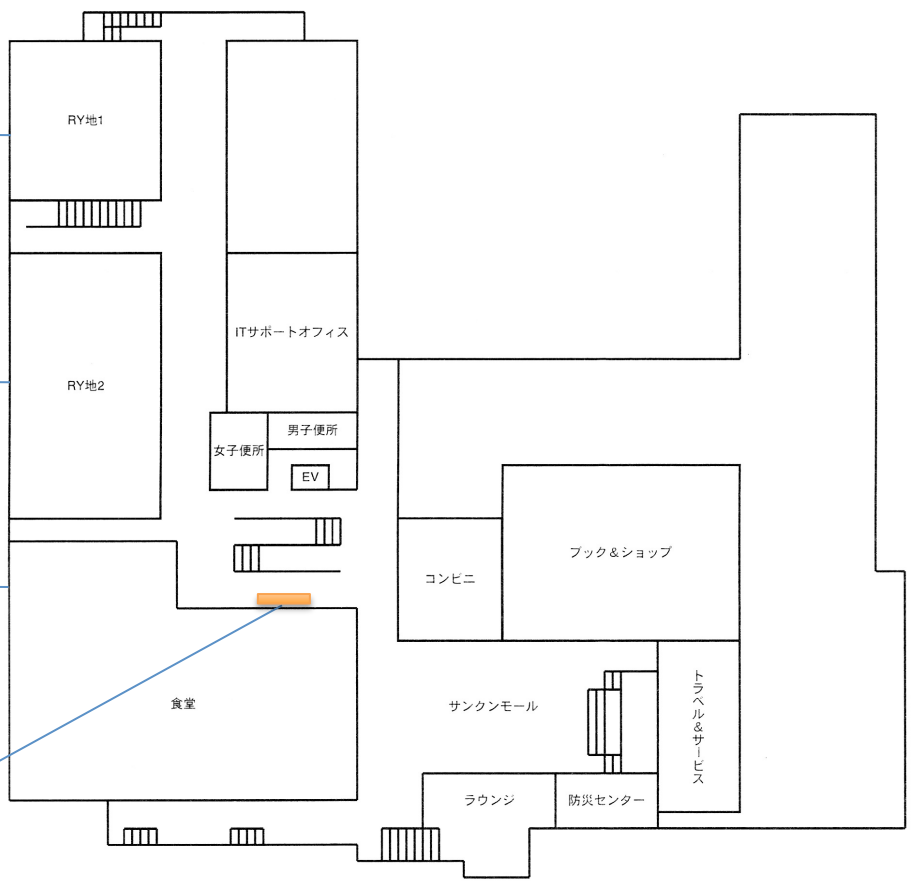
B1F

クローク (12日)

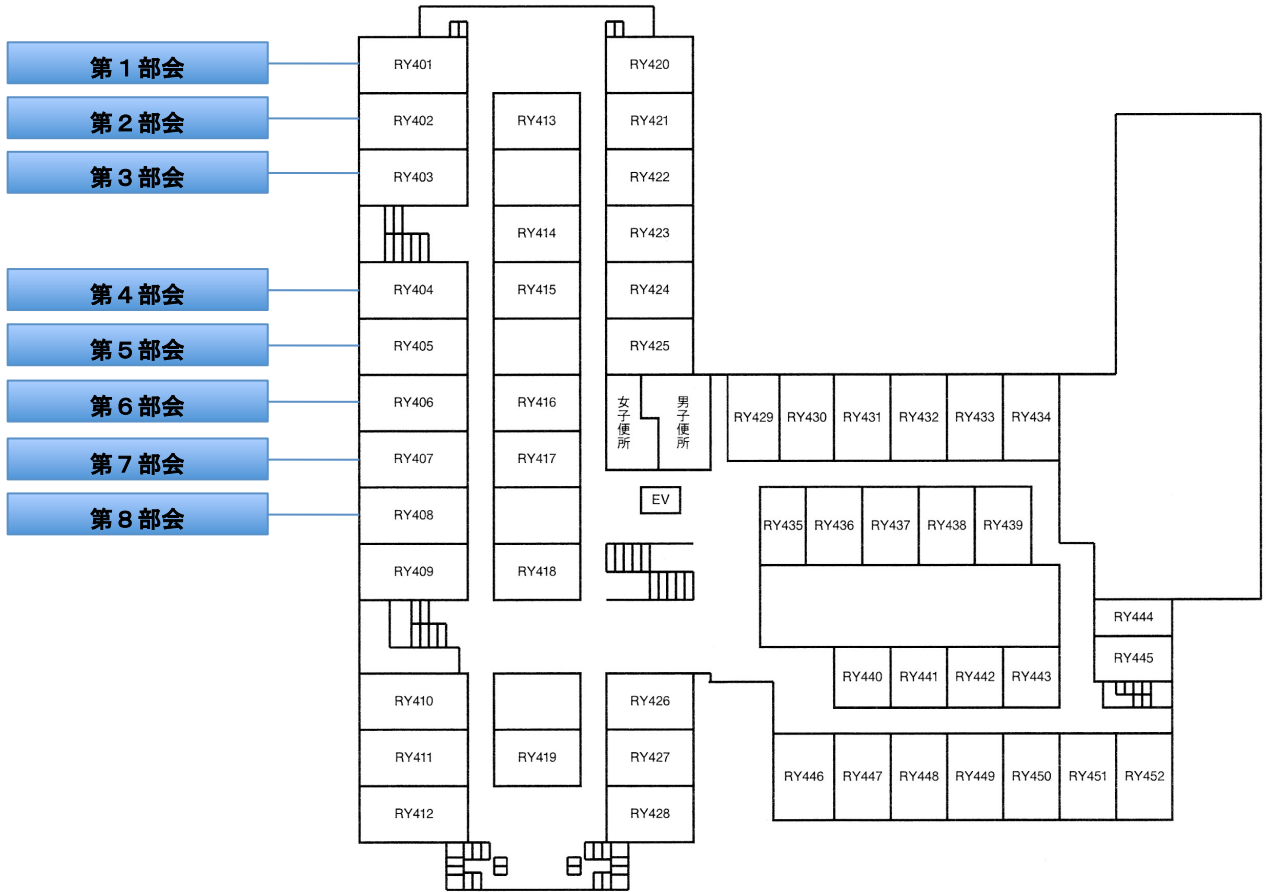
開会式
公開シンポジウム (12日)

昼食場所
懇親会会場 (13日)

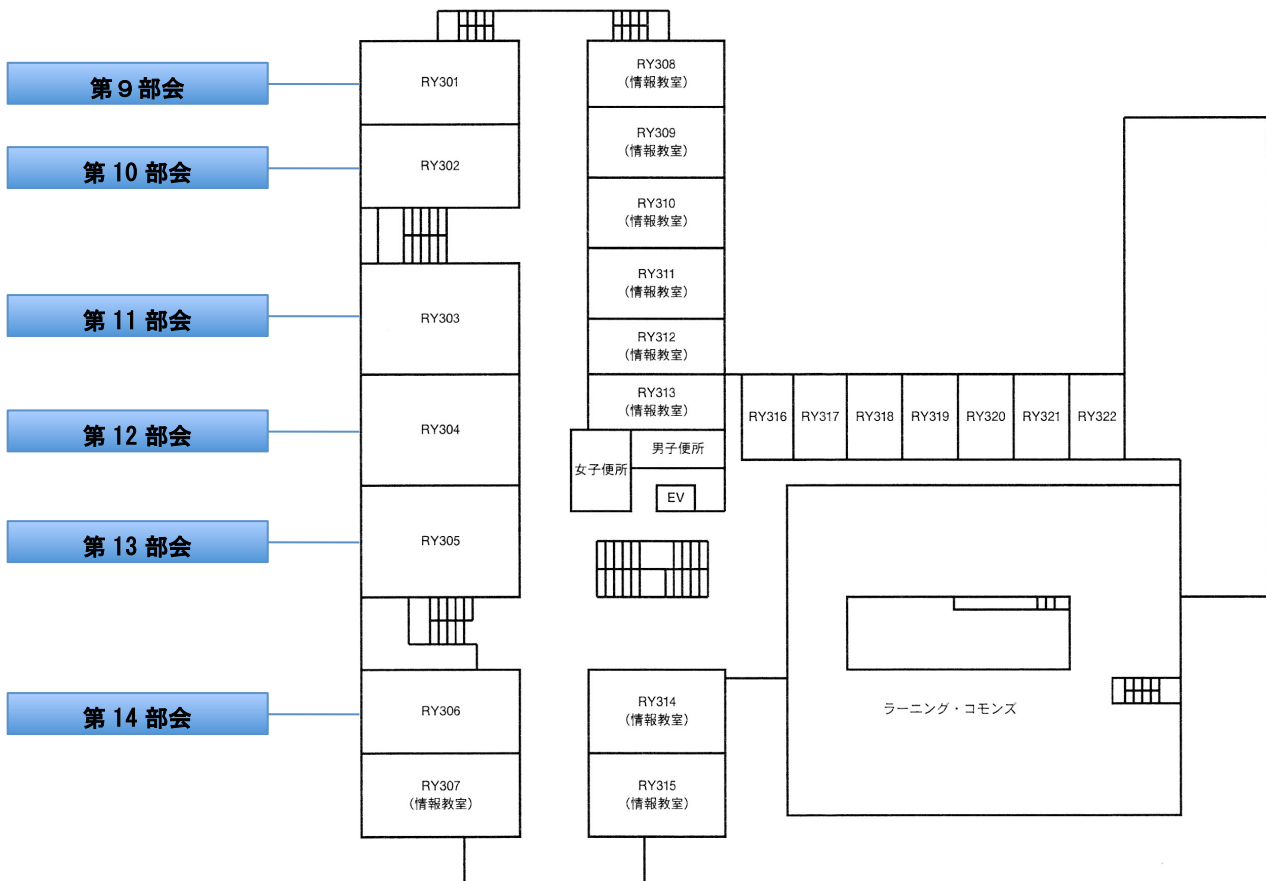
受付 (12日)
※13-14日の受付は1階



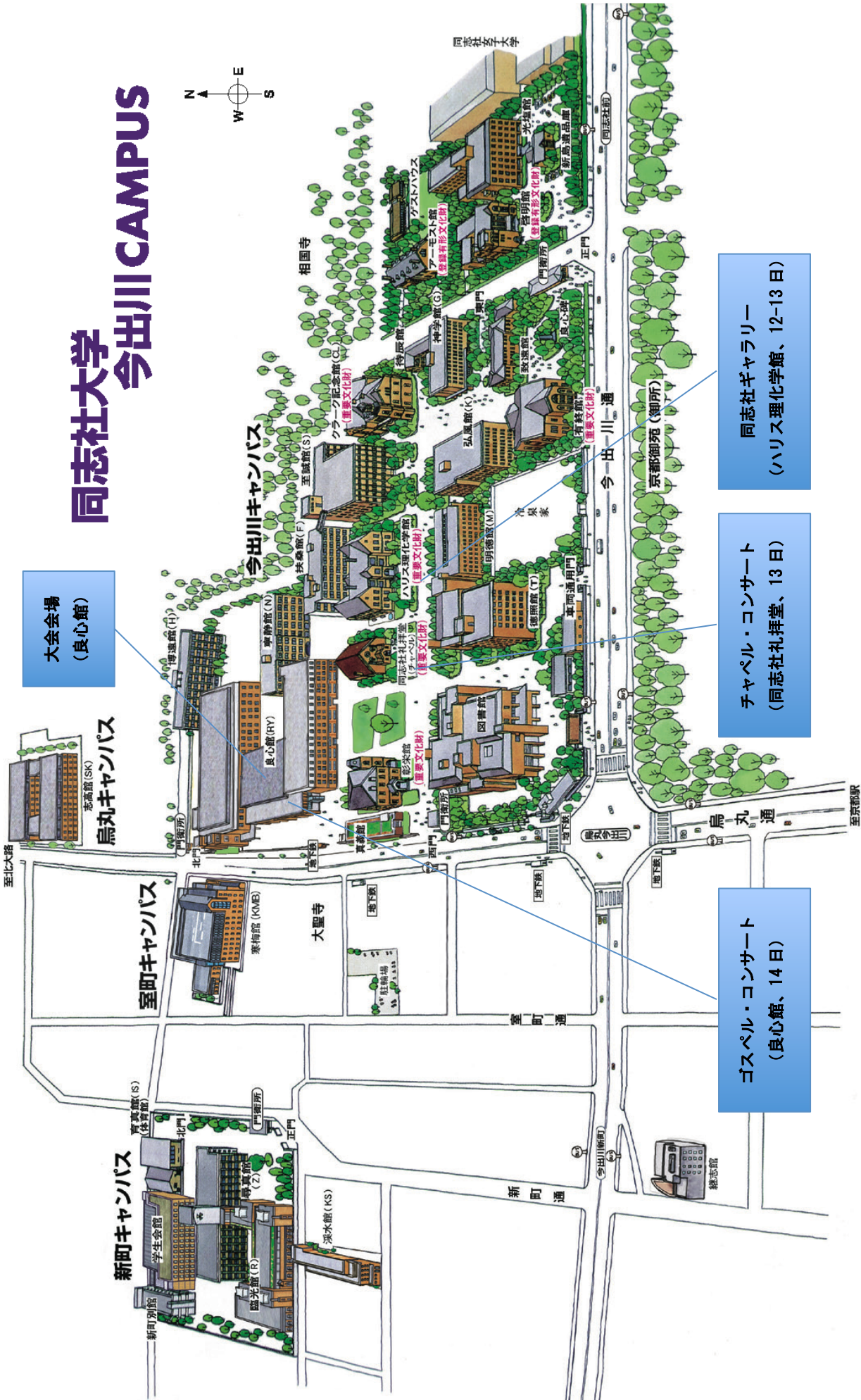
4F



3F



同志社大学 今出川CAMPUS



大会会場
(良心館)

同志社ギャラリー
(ハリス理化学館、12-13日)

チャペル・コンサート
(同志社礼拝堂、13日)

ゴスペル・コンサート
(良心館、14日)

大会開催校 特別プログラム

ハリス理化学館 同志社ギャラリー

日時：9月12日（金）、13日（土）10:00-17:00（最終入館 16:30 まで）

当ギャラリーは、同志社の歴史と創業者・新島襄の今に息づく精神を、貴重な資料によって紹介する展示施設です。建物名の由来にもなっている J.N.ハリスの寄付によって 1890（明治 23）年に竣工したハリス理化学館は、ながらく同志社における理化学教育の拠点となった建物であり、現在では重要文化財に指定されています。昨年のリニューアルオープンによって、常設展示や年数回の企画展、キャンパス出土考古学・古文書資料による創立以前の京都の歴史を紹介する展示室などを設け、新たな情報発信拠点として生まれ変わりました。

チャペル・コンサート（同志社礼拝堂）

日時：9月13日（土）13:15-13:50

同志社の建学精神であるキリスト教主義の象徴的な中心となってきた同志社礼拝堂（1886 年竣工）において、ランチタイムにミニ・コンサートを開催いたします。宗教曲を中心とした、中山幾美子さんのオルガン演奏と同志社グリークラブによる合唱を、どうぞお楽しみください。

○オルガン演奏者：中山幾美子

同志社女子大学学芸学部音楽学科、ハンブルグ国立音楽大学オルガン科卒業。ハンブルグ、京都などでリサイタルを行う他、伴奏者として数多くのカンタータやミサ曲などの演奏会にも出演。CD「クリスマス・オルガン曲集」をコウベレックスよりリリース。現在、同志社大学、同志社女子大学でオルガニストをつとめながら活発な演奏活動を行っている。同志社女子大学嘱託講師。

○合唱：同志社グリークラブ

今年で発足 110 年目を迎える（1904 年創立）、同志社大学の男声合唱団。同志社英学校の寮生たちが談話室で歌う集まりからスタートし、当初は「ダビデ・クワイア」と称していた。その後 1911 年に現在の名称に変更。以来音楽への情熱を貫き、定期演奏会、全同志社メサイア演奏会、国内外での演奏会などを行い、幅広い活動を続けている。曲目 Ave verum corpus（作曲 W.A.Mozart）他。

ゴスペル・コンサート（良心館 地下・屋外階段スペース）

日時：9月14日（日）12:50-13:10

ゴスペルとは「God's spell」神の言葉＝福音＝「よい知らせ」という意味です。2003 年、神学部の授業から誕生した同志社ゴスペルクワイア Joyful-Joyful が、その名のごとく喜びをもって、Rap、R&B、Jazz など様々なジャンルの「よい知らせ」を気軽に楽しんで頂けるコンサートを開きます。パンチの効いた生の歌声をお楽しみください。演奏曲目 Joyful-Joyful 他。

2015 年 IAHR 世界大会（ドイツ・エアフルト）参加・英語発表に関する説明会

日時：9月14日（日）12:30-13:10

場所：良心館 RY409

2015 年にドイツ・エアフルトにて開催される第 21 回国際宗教学宗教学史会議（IAHR）世界大会に関して、参加の方法と英語発表のやり方について説明会を行います。趣旨などは総会の際に説明されます。

日本宗教学会
第 73 回学術大会 実行委員会事務局

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
同志社大学 神学館 1 階

FAX : 075-251-3072

E-mail : jars2014team@gmail.com

HP : <http://jars2014.wordpress.com/>